



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第17号

2021年8月20日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

わくわく算数教室 準備会

8月20日、雨が降ったりやんだりのどんよりとした日でした。しかし、そんな天気を忘れるほど、爽やかにSPさんたちが来てくれました。この日は、片葩小学校で明日から始まる「わくわく算数・数学教室」の準備会が行われました。24名のSPさんが参加をしてくれました。準備会で24人もSPさん!!驚きました。すごい人数です。たくさんのSPさんが参加をしてくださったおかげで、予定よりも早く準備を終えることができました。ありがとうございました。

最初に昨年度の活動の様子をDVDで見ていただき、その後、準備作業が始まりました。手際の良さ、さすがでした。そして何より、どのSPさんも“気持ちよく”動いてくれていました。大学の夏休み期間中、遊んだりアルバイトをしたり休憩したりと思っても全く不思議でない中、準備会に参加をして、さらに“気持ちよく動いてくれる”（気持ちよく動ける）のです。すごいことです。そんなSPさんが集まる場所は、とても心地よい空間です。「毎年ここに来てくれる学生さんは、本当にいい学生さんばかりだ」と、片葩小のSPコーディネーターである中村先生も目を細めて話してみえました。また、SPさんたちはコミュニケーション能力も高い人たちばかりで、自分の作業が終わると積極的に周りのSPさんに声をかけていました。「あとどれが残ってる?」「なら、こっちは私がやろうかな」「これお願いできる?」初対面の人も多かったはずなのに、こんな声がたくさん飛び交っていました。

明日から8日間、ついにわくわく算数・数学教室が始まります。私も“わくわく”しています。今日の準備会の様子を見させていただいて、さらに楽しみになりました。コロナウイルスが心配な中の開催になりますので、みなさん体調に十分気を付けて、無理をせず、臨んでいただければと思います。総勢87名のSPさんたち、よろしくお願いします!!

